

組織評価の改善状況報告書

平成26年3月17日

評価会議議長 殿

情報基盤センター長
井上春樹

組織評価に関する実施要項第10に基づき、組織評価（自己評価及び外部評価）結果に係る要改善事項について、次のとおり平成25年度の改善状況を報告します。

要改善事項
<p>以下の課題が指摘された。</p> <p>【基準2】組織構成について</p> <p>A委員：会議・面談などにおける迅速な意志決定や高い生産性が得られている反面、クリティカルパス上の人材がボトルネックとなる点が懸念される。今後とも、教職員も含めた人員数、管理項目の増大を押さえつつ適材適所な人材配置が課題となる。</p> <p>C委員：大学の規模や業務内容を考慮すると、専任教員や職員の人、数が少ないように思われる。H25年度からは組織構成上では、情報基盤センター長が情報基盤センター内に所属することになったが、静岡オフィスの情報基盤副センター長がなくなったので、実質的には専任教員の数が減っている。そこで、今後は専任教員の増員が不可欠である。</p> <p>【基準3】教員及び支援者等について</p> <p>B委員：情報戦略の下で全学に関わる業務が増大しつつある現状を鑑みると、専任教員数について適切な時期に見直しされることが望まれる。</p> <p>C委員：情報技術の進展に合わせて、情報システムや情報ネットワークを管理・運営し、さらに必要な研究開発を行うためには、基準2のコメントでも述べたが、更なる人員の充実が必要であると思われる。</p>
要改善事項に対する改善計画（実施時期を含む）
<p>組織の強化のため下記施策を推進していく。</p> <p>(1) 現在、情報基盤センター長を除く専任教員が1名であるので、これをH24年度の水準の2名に復帰させることを推進する。（期限：H27/3）</p> <p>(2) 技術職員の現在定員4名を5名に増強する。（期限：H26/3）</p> <p>(3) 幅広い情報サービス支援のため客員教員数を充実させていく。現在16名を20名程度に増員する。（期限：H28/3）</p>
改善状況
<p>(1) 専任教員1名増員を推進中である。</p> <p>(2) H25/10に予定通り技術職員1名を増強した。</p> <p>(3) 客員教員数は計画と異なり、H26/4より16名→13名に削減する。</p>

(H26/2の情報戦略委員会で決定)

達成年度（予定を含む）

- (1) H26 達成予定
- (2) H25 達成済
- (3) H26 予定変更、達成予定

要改善事項

以下の課題が指摘された。

【基準5】施設・設備について

C委員：静岡大学情報基盤センター規則の第2条に「全学情報基盤システムの研究開発及び運用支援を一元的に行うことを目的とする」とあるが、学務情報システムや財務会計システムは情報基盤センターの運用対象に入っていない。今後、情報基盤センターがそれらについても一元的に管理したほうが運用コストを低減できる可能性がある。

要改善事項に対する改善計画（実施時期を含む）

情報基盤機構の業務範囲拡大、機構内の分担、予算振り分けなどについて抜本的改善を実施していく。

- (1) 学務情報システム、財務会計システムについて運用担当者、費用を含め他部局から情報基盤機構に移管する。（期限：H27/3）
- (2) 従来、事務システムの運用は情報企画課が担当していたが、これらを人員含め情報基盤センターに移管し、運用コストの削減、障害発生時の対策時間短縮などを図っていく。（期限：H27/3）

改善状況

- (1) 財務会計システム、学務システムについての費用管理は予定通り情報基盤機構に移行した。（H25/3）運用については人員含め移管の方針で今後も推進する。
- (2) 推進中である。

達成年度（予定を含む）

- (1) H24 システムに費用管理達成済、H28:運用についての移行達成予定
- (2) H29 達成予定